

令和8年教育委員会第5回臨時会会議録

開会日時 令和8年4月23日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時27分

場 所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 市 川 茂
同職務代理者 久 保 洋 子
委 員 壺 内 明
委 員 谷 部 憲 子
委 員 井 口 信 二
委 員 田 中 健

議場出席委員

・教 育 次 長	山崎 淳	・学校教育担当部長	山梨 智弘
・教育総務課長	羽田 颯	・学校施設課長	川端 嘉彦
・学校施設整備担当課長	加藤 義人	・学 務 課 長	大倉 義雄
・教育指導課長	杉山 茂	・学校教育推進担当課長	駒形 康弘
・総合教育センター教育支援課長	二ノ宮 正信	・総合教育センター管理担当課長	松井 美貴子
・統括指導主事	青木 大輔	・統括指導主事	田辺 留美子
・地域教育課長	寒川 正敏	・放課後支援課長	宮 木 亮
・生涯学習課長	土居 真喜	・生涯スポーツ課長	張替 武雄
・中央図書館長	香川 幸博		

開会宣言 教育長 市 川 茂 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 市 川 茂 委 員 久 保 洋 子 委 員 壺 内 明

以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和8年教育委員会第5回臨時会を開会いたします。

本日の会議録の署名は私に加え、久保委員と壺内委員にお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日は報告事項等が3件でございます。

まず、報告事項等の1「かつしかっ子調べる学習コンクールの実施について」の報告をお願いいたします。

教育指導課長。

○**教育指導課長** 報告事項等の1「かつしかっ子調べる学習コンクールの実施について」のご説明をいたします。

項番1「趣旨」でございます。子どもたちが学習センターや区立図書館を活用し、調べることの楽しさを実感できるよう、調べたことを基に分かったことや学んだことをレポートにまとめ、表現する活動を充実させる取組として、実施をいたします。

項番2「募集対象」といたしまして、区立小学校及び保田しおさい学校に在籍する児童。そして区立中学校に在籍する生徒でございます。

「募集部門」につきましては、小学校は低・中・高学年の部。そして中学生の部ということで、4つの部門に分けて募集をいたしたいと思っております。

項番4「募集内容」でございます。児童・生徒が、身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど、調べるテーマを設定し、学習センターや区立図書館の資料・情報を活用しながら調べ、分かったことや考え、思ったことをまとめたレポートを募集いたします。

続きまして、項番5「募集作品」でございます。サイズやページは、記載のとおりとさせていただきます。

項番6「応募締切」は、9月15日まででございます。

項番7「応募方法」といたしましては、教育指導課に提出することとしております。

項番8「審査のポイント」といたしましては、学習センターや区立図書館の資料を活用した研究・調査であるか。自分の発想を生かしたテーマであるか等々8項目の審査ポイントを設けてございます。

続きまして、項番9「表彰」でございますが、最優秀作品・優秀作品・佳作を部門ごとに選定して、表彰したいと考えてございます。

項番10「表彰日程」につきましては、12月中旬。

項番11「その他」につきましては、今年度新たに「かつしかチャレンジプログラム『調べる学習コース』」を実施し、参加した児童につきましては、本コースで学んだことを生かして、本コンクールに挑戦するよう促していきたいと考えてございます。

また、別添「かつしかっ子調べる学習コンクール～調べる学習4つのステップ～」を各学校に配布し、児童・生徒への指導に生かしたいと考えてございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等はございますでしょうか。

田中委員。

○田中委員 ご報告ありがとうございます。子どもたちが何か興味を持ったことを調べて、それをアウトプットするというのは、非常にいい取組かなと思います。

募集部門について、小学校はさらに低・中・高学年とあるのですが、特に低学年に対して、この募集要項だと理解しづらいかなと思ったのですが、実際に募集するときは、何か低学年の子たちに配慮したような募集の見せ方はされるのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 低学年が取り組みやすいように、まずチラシにしっかり分かりやすいような表現をするというところと、学校で調べる取組をできるような形で別添のものを学校で説明するようには促したいと思っています。

○田中委員 承知しました。ぜひ工夫をお願いいたします。

○教育長 井口委員。

○井口委員 表彰が12月中旬にあるということなのですが、優秀賞などのよい発表内容については、何か発表するような場というのは考えているのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 表彰につきましては、賞状をお渡しするということで、今のところ発表の場というのは設けてはいないのですが、学校で発表する機会を設けるようにはしたいと考えてございます。今後、検討させていただきます。

○井口委員 恐らく、入選したものは学校によっては校内でほかの子どもたちに聞いてもらう、見てもらうような場を設けると思うのです。次年度以降の「こういう研究をすればいいのか」という手がかりになるものとしてはホームページなり、いろいろな形で広く知ってもらうことも必要なかなと思うのですが。

○教育長 その辺の周知はどうですか。

教育指導課長。

○教育指導課長 ご指摘のとおり、第1回目の取組でございますので、来年度取り組む子どもたちにしっかり参考になるような形で紹介できるかどうか、今後、検討させていただきたいと思っています。

○井口委員 よろしく申し上げます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項等の1を終わります。

次に、報告事項等の2「令和8年度中学生の職場体験について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 報告事項等の2「令和8年度中学生の職場体験について」ご説明をいたします。

「目的」でございます。中学生に、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成し、自立や社会参加を促すことが目的でございます。

「対象」につきましては、中学校2年生でございます。

「実施期間」につきましては、別紙1「職場体験実施予定一覧」のとおりでございます。

別紙をご覧くださいと思います。24校、全校で取り組むというところで、3日間で取り組む学校が19校、4日間が1校、5日間が4校という状況となっております。

また、お戻りいただきまして、「令和7年度の実施状況」でございますけれども、「活動内容」といたしまして、全区立中学校の生徒が事業所を訪問し、実際に仕事を体験したり、働く人々と接したりする学習活動を実施いたしました。

令和7年度の受入事業所は、別紙2の事業所一覧のとおりでございます。604事業所にご協力を頂きました。

「成果」といたしましては、生徒から「作業が終わると達成感があり、嬉しかったです」。また、「失敗もあったけれど職場の人は優しく教えてくれました。自分も誰かに教える立場になったら、優しく丁寧に教えることを心がけたいです」。また、事業者からも「はじめに何も分からない中で頑張る姿が見られた」等の感想を頂きました。

「その他」でございますけれども、令和6年度から受入事業所に感謝状を送付してございまして、令和8年度についても感謝状を送付する予定でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等はございますでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 子どもたちの職業観とか、身近な事業所を調べることはとても重要なことで、子どもたち自身の進路にも関わる問題だということ。この事業所が640事業所ということで、恐らく地域の皆さんとか、あるいは学校がずっと歴代積み重ねてきた経緯があるのかなと思うのですが、コロナの中で、かつては1週間以上やっていたのです。私も学校でもやってきたけれども、コロナで3日間に減少した学校もかなりあるのではないかと思います。24校中4校だけが5日間以上でしょうか。1週間やっているのは桜道中学校1校だけということで、ちょっとさみしいかなということが考えられます。

1日目、2日目は覚えたり、説明を受けたり、緊張感でいっぱいなのかな。3日目頃から本

格的にということで、自分が体験しながら考えていくと。そういう目で、ちょっと3日間はさみしいなという気持ちがあるのですが、5日間ぐらいに何とかできないものかと思います。コロナももう大体終わりましたから、校長会等に働きかけて、実際の職場体験という体験の部分を重要視しながら働くことの意義を再度子どもたちに確認しながら、将来の進路の開拓に向かって進んでいくということで、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○教育長 ご要望ということで。

○壺内委員 はい。

○教育長 校長会等で話をしましょう。そのほかいかがでしょうか。

井口委員。

○井口委員 指導課長から、成果のところでも報告があったのですけれども、昨年の中学校の研究指定校の発表の学習の中で、職場体験のことを語っていたり、感想を言っていたりして、実際に私も子どもたちの生の声でその成果が聞けて、とてもよかったなと思いました。

それで、とても貴重な体験的な学習なのですけれども、それだけで済ませるのではなくて、体験したことから社会の中から新たな課題を見つけて、それを追求する。探求的な学習に結びつけて、先ほどの調べる学習コンクールではないのですけれども、体験したことによって、新たに分かった課題というのを調べる・まとめる、そして発表する。さらに、その先に行くと議論するという学習に進んでいくと、とてもこれからの社会を生き抜く力をつけていくという意味では、貴重な学習になるので、体験からさらに進むといいな。ただ、中学校は高校受験というのがあって、時間的制約もいろいろあるとは思いますが、せっかくいい体験をするので、その体験から先の学習に、そういう実践をしている学校もあるかもしれないですが、広がっていくといいなと。

もし今年の秋、また中学校の研究発表で、指定校の発表でそういう成果が見られるとありがたいなと思います。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 ただの職場体験を体験だけで終わらせるのではなく、体験したことをしっかりまとめて、現在、しっかり発表していくという学校もやっていますので、それをしっかり広げていくということも大事ななと思ってございますので、しっかり校長会と連携を図りながら、やらせていただきたいと思います。

以上です。

○井口委員 ありがとうございます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項等の2を終わります。

次に、報告事項等の3「2026 かつしかスポーツ大会総合開会式及びエンジョイスポーツ 2026

スポーツ教室の実施について」の報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 それでは、報告事項等の3「2026 かつしかスポーツ大会総合開会式及びエンジョイスポーツ 2026 スポーツ教室の実施について」報告いたします。

令和8年4月12日日曜日、午前9時から、奥戸総合スポーツセンター体育館大体育室にて、総合開会式を開催いたしました。開会式終了後には、午前10時15分から小体育室で表彰式を、各会場では晴天の下、元プロ野球選手やサッカー選手等を招いた各スポーツ教室を午後4時まで実施いたしました。

4「参加人数」ですが、2,411人でした。詳細は別紙3ページをご覧ください。

5「救護・迷子件数」については、救護が1件ございました。東新小岩運動場で行われたサッカー教室の最中に、気分が悪くなった参加者がおりましたが、医師・看護師の対応のもと、休憩したところ、体調もよくなり、教室に戻ったと報告を受けております。

次ページをご覧ください。6「表彰式」ですが、本区のスポーツ振興にご尽力いただいた体育功労者表彰14名、社会体育優良団体1団体に対して、区長から表彰状を授与いたしました。また、令和7年に全国大会・関東大会・都大会などで活躍された4団体、個人20名の選手に対して、スポーツ協会会長から葛飾区スポーツ協会優秀選手賞の授与が行われました。

7「その他」として、総合開会式では、第79回葛飾区区民体育大会及びエンジョイスポーツ2026大会の合同開会式と位置づけ、式典では新たな葛飾区トップアスリート4名へ認定証授与や東京都スポーツ大会選手団の壮行会も実施いたしました。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告について、ご質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項等の3を終わります。

以上で、本日予定していた議事は全て終了となりますが、そのほか、委員の皆様からご意見、ご質問などはございますでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 新学期が始まりまして、1年生も小学校も順調に子どもたちが通学しているところなのですが、ちょうど、その直前の3月に京都で不幸な事件が起きました。そのとき、最初に学校で登校していなかった児童についての連絡が遅かったのではないかとということで、学校が謝罪されていましたが、それを受けまして、新1年生に入る保護者の方が、「どうしようかなと迷っていたGPSを、子どもに持たせることにしました」という方がかなり多くなりました。

それで、そのことを受けて、学童保育では既に、ほとんどのところで採用されているということなのですが、子どもたちが入ってくると「入ってきました」ということが分かる、退出す

ると「退出しました」が分かるというシステムを学校に導入されないかなということだったので、私に葛飾区の学校で、私のほうで調べ切れなかったのですが、何校か自費で採用しているところがあるとお聞きしているので、そちらの設置を各校で検討していけないかなということと、わくチャレですとかそういったところも連動できればいいかなということがあります。

あとやはり朝、子どもたちよりも前に出なくてはならない親御さんにとっては、それはすごく大切というか、「あると本当にありがたい」というお話も聞きますし。たまたま近所に、ご両親が教員という方がいまして、2人とも7時半には出なくてはならないということで、1年生だったので、ご近所の方に見ただけのことになりました。それは昔ながらで本当にありがたいし、すばらしいことなのだと思いますけれども、朝、特定の理由があるお子さんについては、学校に早めに来てもいいというシステムも、今後考えていきたいなと思っていますので、今後のご検討をお願いしたいかなと思ひまして、発言させていただきました。

○教育長 井口委員。

○井口委員 関連して。谷部委員とも、前にそのことで話をしたのですが、もう20年近く前なのですが、私が幸田小の校長になったときに、そのシステムを導入しました。そのときは、カードを登校したときにげた箱の近くにセンサーがあつて、そこにパッとタッチすると保護者に指定した2件、父親と母親を指定すれば、その2件の携帯に「学校に登校しました」、下校時も学校を出るときにセンサーにかざすと、保護者に「これから学校を出ます」というメールが行くというもので、私が幸田小で導入した当時は、メールに広告が添付されることによって、無料だったのです。それが、広告の企業がだんだん見つからなくなったということで、私が花の木に異動して導入したときには、有料になりました。そうすると学校主体で進めることはできないので、PTAが推薦するという形で導入していました。今はカードをかざさなくても、通過するとメールが行くというものになっていると思うのですが、自治体によっては、区全体でやっているところもあると聞いています。

葛飾区全区でやるとどれぐらいお金がかかるかよく分からないのですが、もし可能ならば、朝の子どもの登校の見守りで、朝の問題というのはなかなか微妙で、受入れをやっている自治体とそうじゃないところがありますが、親が少しでも安心できるよう、検討してみることもどうかと思うのですが。

○教育長 では、まず登下校のシステムに関してお願いします。

教育総務課長。

○教育総務課長 まず、登下校の見守りのシステムでございますけれども、今、井口委員からお話ございましたけれども、校門のところにセンサーがついていて、子どもがランドセルに引っかけるような機械をつけて入ると「今、登校しました」、出ると「今、下校しました」と、

保護者にも連絡が行くようなツールを入れている学校が確かにございます。ただ、どこで導入しているかというお話になるのですけれども、先ほどお話にもございましたとおり、PTAで希望を聞いてみて、希望者が多かったのでPTAの費用で入れた学校がほとんどというところでございます。

ですので、現状ですと、入れているサービスや、保護者にご負担いただいている費用について、月数百円ですけれども、違っている現状がございます。また、保護者の中には、全員がそのシステムを希望するわけではなくて、中には費用かかるのだったら要らないといったようなお声もあるというところも聞いております。

葛飾区としてどのように対応するかは、そういったご意見も踏まえて整理をさせていただきたいと考えてございます。

○教育長 朝の登校前の話はどうですか。

放課後支援課長。

○放課後支援課長 朝の見守りに関しましては、昨年度来検討を進めてきているところですが、現時点では、申し訳ございませんけれども、実施に向けた段取りが取れていない状況でございます。というのも、48校全校で展開をする前提に立ちましたときに、見守りの担い手につきまして、様々ご相談させていただいているところではありますが、現時点では見通しが立っていない状況でございます。

ただし、こういった方法が取れるのかということにつきましては、今も引き続き検討を続けているところでございますので、検討が進み次第ご報告をさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○教育長 課題意識は持っているということでご理解いただければ。

田中委員。

○田中委員 私も、先般、谷部委員から話を伺って、私が住んでいる青戸地域の学校へ確認しました。そうすると、中青戸小で先ほどお話を合ったようなものを導入しているという話を聞きました。また、任意でGPSの端末を持たせているというところがあります。

また、主にPTA役員をやっている保護者に聞くと、ほぼ1人を除いて「あったらいいね」という意見があるというところで、恐らくアンケートを取ると大半が「あるといいね」という意見になるかなと思います。ただ、一方で費用がかかるとなると「そこまでいいかな」になるかもしれません。

私が調べたところだと、GPSとカバンにつけて校門通ると通知が行く仕組みについては、メリット・デメリットがあって、GPSだと月額千円弱ぐらい費用がかかります。ただ、精度は誤差が出るので、特に葛飾のような建物が多いところでは、それによって電波がずれて、本当は学校にいるはずなのにその辺の公園にいるように出てしまうので、保護者は目安として使

っているという意見が多かったです。

ただ一方で、GPSなので学校外でも使えます。なので、下校した後、どこに遊びに行ったかとか、旅行中に迷子にならないように持たせているので、汎用性が高いというメリットがあるようです。

一方で、正確性だとさっきの校門を通過した仕組みのほうが確実なので、そのほうが学校の登下校に関しては、間違いないというところのメリットがある一方で、学校以外では使えないのに対して、月 400～500 円かかるというところに保護者がどう考えるかというところかなとは思います。

というのが、私の調べたところで、ご協力でございました。なので、保護者としては、導入にはポジティブですけれども、負担額によっては、どれぐらいが許容できるかというところは、保護者の意見を伺いながら調整する必要があるという意見はあります。

もう一個、恐らく学校側のメリットもありますよね。出欠確認が普通に人力だけではなく、システムを利用してできるので。

○教育長 学校にいるのだけれども教室にいないというケースがあるので、居どころの確認はしやすいですね。それが全て、パーフェクトではないかもしれないけれども。

○田中委員 もちろん最終的には人がチェックすると思うのですけれども、教員の校務負担を下げるところがあると思うので、そういう費用対効果もあるのであれば、前向きにご検討いただいてもいいのかなと、私としては思いました。

以上でございます。

○教育長 いずれにしても、それぞれのところで検討課題としていますので、ある程度形が見えてきたら、また報告をさせていただくということでお願いします。

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして、令和8年教育委員会第5回臨時会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時27分